

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公表番号】特表2011-519304(P2011-519304A)
【公表日】平成23年7月7日 (2011.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2011-027
【出願番号】特願2011-507473(P2011-507473)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/30 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/30

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月29日 (2012.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の介入治療部位に埋込む医療器具を含むシステムであって、
前記介入治療部位に埋込み可能な第 1 の構成要素と、
前記介入治療部位に埋込み可能な第 2 の構成要素と、
前記第 1 の構成要素と第 2 の構成要素との間の前記介入治療部位に配置される一時的な構成要素とを備え、

リンク構成要素に関する動的特徴が、前記第 1 の構成要素と第 2 の構成要素の間の一時的な構成要素の構成に基づいて評価され、その後、前記一時的な構成要素が前記介入治療部位から除去される、システム。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の構成要素が、前記介入治療部位内に固定される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記リンク構成要素が、前記第 1 および第 2 の構成要素のそれぞれに取り付けられる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記リンク構成要素が、関節結合する関節をまたぐ、請求項 3 記載のシステム。

【請求項 5】

関節結合する関節を治療するシステムであって、
前記関節の第 1 の骨上に構成可能な第 1 のベース構成要素と、
前記関節の第 2 の骨上に構成可能な第 2 のベース構成要素と、
細長いハンドルと、
前記第 1 のベース構成要素と第 2 のベース構成要素の間に形成されたトンネルと
を備え、

前記関節を画定する部材が屈曲しているときも伸長しているときも、前記トンネルが適切な空間を設ける、システム。

【請求項 6】

前記ハンドル・アセンブリが、リンク・アセンブリを受け、前記トンネルを通して前記リンク・アセンブリを運搬するように寸法設定および成形された、請求項 5 に記載のシス

テム。

【請求項 7】

前記リンク・アセンブリの端部が、前記第 1 および第 2 のベース構成要素に取り付けられる、請求項 6 記載のシステム。

【請求項 8】

関節結合する関節を治療するシステムであって、

第 1 の埋込み部位に配置可能である第 1 の構成要素、および第 2 の埋込み部位に配置可能である第 2 の構成要素であって、前記第 1 の構成要素及び前記第 2 の構成要素は前記関節結合する関節の両側に設けられ、

前記第 1 の構成要素と第 2 の構成要素の間に位置決めされた位置特定器具であって、第 1 の部分、第 2 の部分、および第 3 の部分を含む、前記位置特定器具と、

前記第 1 の構成要素に取り付けられた、前記位置特定器具の第 2 の部分と、

前記第 2 の構成要素に取り付けられた、前記位置特定器具の第 3 の部分とを備え、

前記位置特定器具が延在する範囲が特定される、システム。

【請求項 9】

前記位置特定器具が延在する前記範囲が、前記関節結合する関節において前記第 1 および第 2 の構成要素の配置を特定するのを容易にする、請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

前記位置特定器具が延在する前記範囲が、前記第 1 の構成要素と第 2 の構成要素の間に取り付けられるリンク・アセンブリの選択を容易にする、請求項 8 記載のシステム。

【請求項 11】

第 1 および第 2 の部材を含む関節を横切って医療器具を取り付けるシステムであって、圧縮ネジおよび止めネジで前記第 1 の部材に取付け可能な第 1 のベースと、

1 つまたは複数の圧縮ネジおよび止めネジで、前記第 2 の部材に取付け可能な第 2 のベースと、

前記第 1 および第 2 のベースに固定される第 3 の構成要素とを備える、システム。